

平成20年度 広域ブロック自立施策等推進調査

五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する調査
報告書

平成21年3月

国土交通省 関東地方整備局

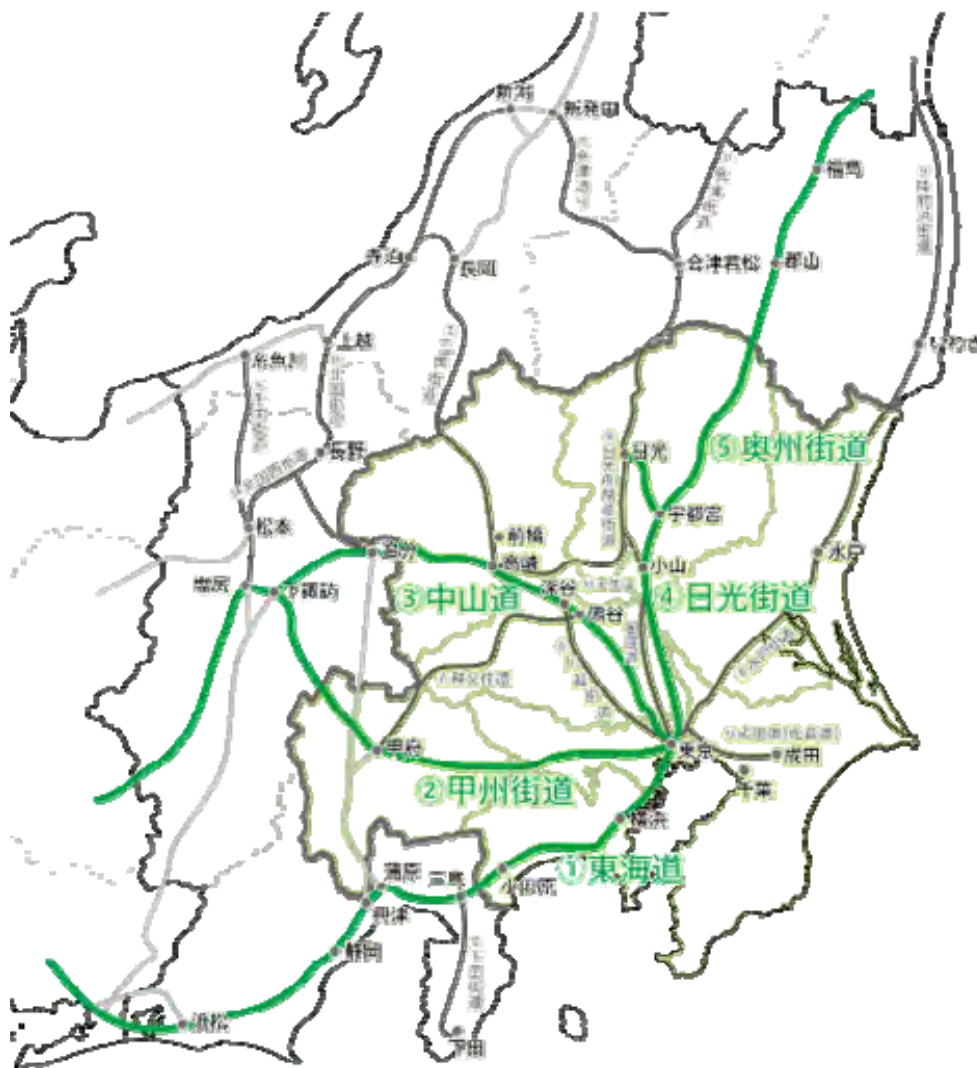
1-1 調査目的

(1) 調査目的

本調査は、広域首都圏における五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する基礎調査を行い、連絡会議を行うことにより、街道をテーマにした地域の資源、文化、歴史的遺産の保全・再生等を各自治体が連携して取組むための統一コンセプトの必要性や連携方策を検討するものである。

(2) 調査対象箇所

広域首都圏1都11県の561市区町村（東京都島嶼部9町村は除く）（平成20年11月時点）のうち、五街道及び江戸（東京）を中心に放射状に各地域を結ぶ脇街道、歴史街道を対象とし、下記の街道を調査対象として選定した。



図一 調査対象街道位置図

表一 調査対象街道一覧

【五街道】

- ①東海道 ②甲州街道 ③中山道 ④日光街道 ⑤奥州街道

【五街道に関連する主な脇街道・歴史街道】

- ⑥川越街道・秩父往還 ⑦三国街道 ⑧水戸街道 ⑨陸前浜街道 ⑨北国街道
⑩日光例幣使街道・日光壬生道 ⑪会津街道・会津通り ⑫下田街道
⑬成田道（佐倉道） ⑭北国街道・北国西街道 ⑮千国街道

1-2 調査概要

(1) 五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する基礎調査

① 広域首都圏における五街道・脇街道の位置づけ

調査対象とした街道選定の考え方、対象街道名、市区町村リストを整理し、位置図を作成し、広域首都圏における五街道・脇街道の位置づけを整理する。

また、交通変遷と街道の整備実態を調査し、街道の位置づけや機能・役割を整理する。

② 五街道・歴史街道に関する自治体アンケート調査

広域首都圏 1 都 11 県のうち、調査対象とした街道が通る 250 市区町村を対象にアンケート調査を実施し、街道及び地域の歴史資源の実態、歴史資源を活かしたまちづくり活動の状況を調査するとともに、街道を通じた連携・交流の可能性について把握する。

③ 街道の道筋・広域連携資源等の整理

調査対象とした市区町村ごとに、地域の歴史資源、街道を活かした地域活動等について、文献調査、ホームページ等の公開情報をもとに整理し、市区町村単位でカルテとしてシートにとりまとめた。

また、カルテから着目すべき資源、活動を抽出整理し、街道ごとに一覧で資源を俯瞰できる図表として街道マトリクス、街道マップを作成した。

(2) 連絡会議の開催

① 基礎調査結果説明資料の作成

基礎調査結果をわかりやすくとりまとめた資料を作成・印刷し、参加者に配布するとともに、連絡会議に参加できなかった広域首都圏内の全市区町村（500 市区町村）に資料を送付し、街道・歴史資源を活かしたまちづくりに対する理解を促した。

② 事例報告資料作成

街道・歴史資源を活かしたまちづくりを考えるうえでのヒントとして、報告事例としてふさわしい事例を抽出し、それぞれ調査をした。

③ 事例報告資料をもとにした簡易映像作成

事例報告資料をもとに、関係者インタビュー及び現地撮影を行い、撮影映像の編集を簡易映像を作成し、DVD にとりまとめた。

④ 連携して取り組むべき施策の提案に向けた資料作成

街道沿いの歴史資源を発掘し、これらの資源を持つ街道沿いの市区町村同士が連携することで、地域づくりのさまざまな効果が発揮されることが期待されることから、連携の糸口を提案する連携テーママップを作成した。

⑤ 連絡会議の検討方針

広域首都圏の市区町村に対する情報提供、意見交換の場として、連絡会議の今後のあり方について検討を行った。

(3) 五街道等の魅力アップを図るための検討

①まちづくりのテーマごとの検討方針

五街道・脇街道及び地域の歴史的な資源を活かし、まちの魅力アップを図るために、以下の4つのまちづくりのテーマを設定し、それぞれのテーマごとにまちづくりの検討方針を整理した。

- ・街道をキーワードに連携して取り組めるまちづくり
- ・地域住民のまちづくりに対する意識向上
- ・歴史・文化に裏打ちされた風景の創出
- ・街道や歴史資源を活かしたブランド開発

②街道の資源を活かしたまちづくり活動の展開の視点

①の4つのまちづくりのテーマごとの検討方針を総括し、街道の資源を活かしたまちづくり活動を展開するにあたって重要な視点を取りまとめた。

(4) 今後の活動に向けて

平成20年度の調査結果をもとに、街道・歴史まちづくりの推進に向けて、次年度以降に調査・検討を深めていくべき事項について整理する。

1-3 調査フロー

